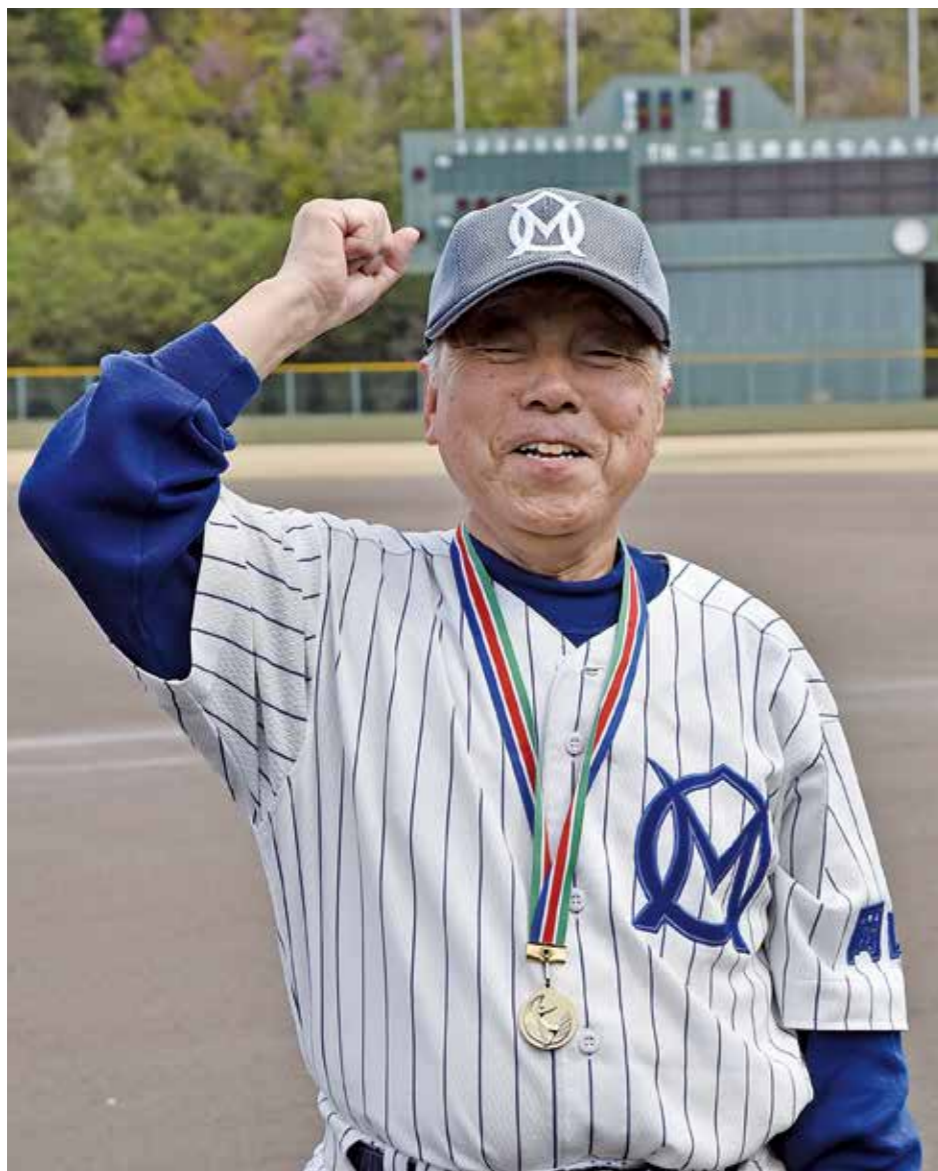


子育て王国めぐり



野球でつながった人たちに
支えられている

輝いている人

インタビュー
Interview

ファミリーサポートセンター



依頼会員と提供会員の顔合わせ



「ファミリーサポートセンター『あい・あい』」は、子育てのサポートが必要な人が利用できるサービスです。

子育ての援助を必要とする人（依頼会員）と援助する人（提供会員）が助け合う仕組みで、「あい・あい」は会員同士をサポート内容に応じてコーディネートします。

提供しているサービスは、一時預かりや送迎など。病児の預かりや送迎も行います。中・高校生まで利用できます。サポートが必要なときは利用してください。

入会説明は、平日と第3土曜日の午前中に行っています。依頼会員と提供会員の顔合わせは、平日に限らず土日祝日にも実施しています。お気軽にお問い合わせください。

申込先・問い合わせ NPO法人保育サポート「あい・あい」(☎04 5665、総社ふれあいセンター内)

チュッピー子育て
ほっとメール

kosodate@city.soja.okayama.jp

子育ての相談をしたくても時間がとれない人、窓口で相談しにくい人の悩みに、チュッピーと職員・保健師が答えます。



QRコード

昨年11月に兵庫県豊岡市で開催された、第19回全日本身体障害者野球選手権大会で初優勝した岡山桃太郎「岡山桃太郎」総監督

副松正信さんだ。

9月に行われた中四国5チームによる大会を制し、全国7ブロックの予選を勝ち抜いた7チームによるトーナメント戦へ駒を進めた。決勝の相手は、一昨年も決勝で相まみえた強豪の神戸コスモス。前半でリードを奪い、堅実な守備で反撃を抑え、7対1で雪辱を果たした。胴上げで宙に舞ったときは、涙が溢れたそうだ。

副松さんは昭和59年にチームが発足した当初から関わり、現在も月2回程度の練習に参加する。今でこそ総監督という立場だが、現役時代は全てのポジションを守るオールラウンドプレイヤーだった。幼いころから野球一筋。「私の人生は、野球でつながった人たちに支えられている。今の私があるのは周りのみんなのおかげ」と感謝を忘れない。

チームの目下の目標は、5月に神戸市である第26回選抜全国身体障害者野球大会。「今のチームの特徴は、一言で言うところ若さ。若い世代が積極的に動き、走攻守のバランスもとれていて優勝も狙える」と手応え十分。

ただ、残念なことが一つ。チームに所属している総社市民は、副松さんただ1人。「私は野球という生きがいを見つけた。障がいがある人も、家にこもらず運動や買い物など、外に出る人が増えてくれたら。世の中必ず誰かが認めてくれる」と笑顔で語る74歳は、まだまだグラウンドに立ち続ける。

第19回全日本身体障害者野球選手権大会で初優勝した
身体障害者軟式野球チーム「岡山桃太郎」総監督

副松正信さん（総社）

学校給食 おすすめレシピ

さけの香味焼き



●材料（4人分）

- サケ切り身…50g × 4切れ ●葉ねぎ…1～2本
- ショウガ…1かけ
- 調味料…しょうゆ=大さじ2、みりん=大さじ1
調理酒=大さじ1、砂糖=小さじ2
いりごま=小さじ1

●作り方

- ①葉ねぎは小口切り、ショウガはすりおろす。
- ②サケに軽く塩をふり、焼く。
- ③調味料に①、水大さじ1を加え、葉ねぎがしんなりするまで加熱する。
- ④②に③をかける。

その他の献立 ごはん、牛乳、キャベツのレモンあえ、豚汁、ふりかけ